

プログラム名(テーマ) 自然に触れる(理科)

目指す児童・生徒像 「人間以外の生き物には人間の営利以外の目的でも守るべき価値がある」ということを感じ取れる生徒

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1 日 目	○朝の散歩		入所	食堂	○野鳥の観察 ・バードコール作り ・バードコールを使って、鳥と会話 ・色々な種類の鳥の鳴き声を聞き取って声真似をする。 ○フィールドワーク ・地面に直径1 c m位の穴が多くある場所を探す。 （蟬の穴） ・蟬の抜け殻を探す。 ○動物や昆虫を見つけてデジタルカメラで撮影して記録する。	食堂	○ナイトハイク ・蟬の羽化を観察しよう ・昼間見つけた蟬の穴、抜け殻が多い場所の近くの木の幹を観察し蟬の幼虫を探す。 ・デジタルカメラで写真・動画を撮って記録する。	1 日目のテーマを「動物」とする。
	・自分たちの生活するエリアを散歩して把握する。 (エリア地図があれば地図を持って散歩)				・「バードコールを鳴らすと鳥の声が返ってくる」という経験をする事で、野生動物の生活を害することなく人間は関わるができる事を経 験する。 ・「鳥の鳴き声ができる」と言う認識を「こういう鳴き声の鳥がいる」という認識に変え、場合によっては鳥の種類の同定まで行えるようにする。 ・鳥の鳴き声をカタカナ表記してみる。 ・ナイトハイクで蟬の観察をする場所の目当てを作っておく。 ・多くの動物を見るために、記録の負担軽減をしたい。なので記録をデジタルカメラの写真で行いたい。 ・学校に帰ったときパワーポイントで観察結果のプレゼンテーションを作らせたいので、写真の他に気づいたことをメモする。 *デジタルカメラ メモ用ノート クリップボード 筆記具 桜の木切れ ヒートン 錐		・蟬の羽化する様子を直接観察し、羽化直後の無視の質感、羽化にかかる体感時間などを感覚的に知る。 ※デジタルカメラ メモ用ノート クリップボード 筆記具	理科＜動物の世界＞＜自然と人間＞に割り当てる。
2 日 目	・お昼用のおむすびを作る	食堂	○フィールドワーク 雲の観察 ・登山道付近を下から観察し、雲があるところを目指して歩く。 ・下から観察した雲と雲の中の様子をデジタルカメラで撮影して記録し、気づいたことをメモする ・鍋割を目標に歩く。	朝 作 った お む すび	フィールドワーク ○雲の観察 ・午前の続き	食堂	○星の動きの観察 同じ場所で2時間の間隔を開けて星の観察 同じ星座がどこにあるかを、地表の目印や木の枝等を基準に絵で記録する。 ○キャンプファイア キャンプファイアを挟んで観察を行う。 ○夜空がよく見えるところでアウトドアマットを敷いて寝ころんで空を見る。	2 日目のテーマを「天気・宇宙」とする。
	・簡易なお弁当を作る経験をする。		・雲を内部で見ると霧であることがわかる。 *デジタルカメラ メモ用ノート クリップボード 筆記具				○星の動きの観察を行うと共に、山の夜空でどれだけ多くの星を肉眼で見ることができるか、ということがわかる ○キャンプファイアの際にエールマスターは星にちなんだ話をちりばめた進行をする。 *メモ用ノート クリップボード 筆記具	理科「天気」「宇宙」に位置づける。
3 日 目	・朝の散歩		○フィールドワーク ・気になった植物をデジタルカメラで撮影して記録する。	食堂	退所			3 日目のテーマを「植物」とする。
			・学校に帰ったときパワーポイントで観察結果のプレゼンテーションを作らせたいので、写真の他に気づいたことをメモする *デジタルカメラ メモ用ノート クリップボード 筆記具				・写真やメモを多く残し、その資料を基に、学校に帰ってからまとめる。まとめの時間を特設し、パワーポイントでまとめを行う。	

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。